



# 旭P連だより

## 旭川市PTA連合会

### やがて大きな力に!!

きました。すべての皆様に心からの感謝を、さらには、皆様のPTA活動が益々有意義であり続けますようお祈りし、一年の締めくくりと致します。



旭川市PTA連合会会長 大垣 宏

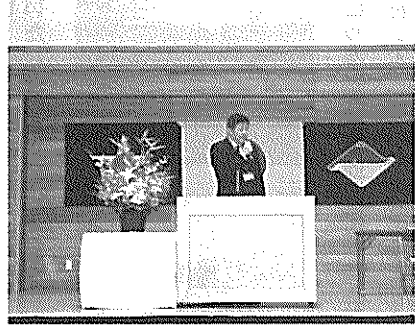
この3月に起こった、いわゆる東日本大震災は、東北から関東地方にかけての太平洋沿岸地域を中心に、広範囲に甚大な被害をもたらした。その後も、福島第一原発からの放射性物質の問題が、事態をさらに深刻化させています。この震災による犠牲者、被災者の中には、児童や生徒たちももちろん、私たち同様PTA活動にご尽力されてきた方々も含まれているであろうことは想像に難くなく、言葉を失います。

被災地とは距離を隔て、直接的な被害も無く、普段と特に変わらない生活をしていられる私たちにとっては、歯がゆく、もどかしい思いに苛まれていた方も少なくないはず。ただ、支援は直接的な支援ばかりではないので、私たちにもできる間接的な支援について考えたいところ。震災を通じ、普段がいかに恵まれているか、また、社会の中で、人は人を支えたり、支えられたりして成り立っていることをあらためて知らされたような気がしています。

自分ができる小さなことから...。不連続の連続ともいわれるPTAにおいても、少しでも多くの小さな力が、やがて大きな力につながるものと信じたいものです。

変な文章となってしまうかもしれませんが、終わりに、被災地の日も早い復興を願います。また、今年一年旭川市PTA連合会ならびにその活動に対し、ご理解とご協力頂

### 151回 旭川市PTA研究:



### 旭川市PTA 研究大会について

旭川市PTA連合会 研修部担当副会長 大谷地 裕明

第五十一回旭川市PTA研究大会が、十一月二十八日旭川市地場産業振興センター、旭川市神楽公民館を会場に約六百五十名の参加のもと開催されました。



大会テーマ「笑顔につながるみんなの絆」のもと八部会に分かれ熱心な討議がなされました。各学校の実践報告としては「PTA活動」、「子どもの安全」、「食育」、「父親の役割」、「読書」の

【事務局】  
旭川市6条5丁目 日章小学校3階  
TEL 2312916番  
FAX 2312917番  
【発行責任者】大垣 宏

五部会を行いました。各部会ともにそれぞれ身近なテーマであり今後のPTA活動に向け内容のあるものになったと感じております。竹内成彦様の全体講演「子どもたちの話を聞こう」と、明るい家庭作りは、思いやりの会話から思わぬ話に聞き入り、思わぬなすき、そしてハッとする心に響く強いメッセージが伝わってきました。本研究大会が、今後の我々PTAの活動にひとつでも参考になれば幸いです。最後に、本研究大会の開催にあたりご臨席賜りましたご来賓の皆様、また各部会において貴重な講演、助言をいただきました関係各位、そして大会運営にご尽力いただきました理事の方々および主幹校の愛宕中学校PTAの皆様へ厚く感謝申し上げます。

### 本年度総務部の 主な仕事

総務部担当副会長 真下仁志  
教育懇談会は、毎年開催している事業であります。開催する意味があるのか?やっていると知らず知らずのうちに、市P連事業として認知されていない現状から、単Pでまず旭川市・教育委員会への要望等を議論してもらい、各ブロックで討議・集約し、ブロックでまとめたものをブロック代表者の質問とし懇談会に臨んでもらうことで、会員皆さんが問題意識を共有し、また、ブロック活動の活性化につながるものと、今回より新たな方法で実施いたしました。その結果、各地区のブロック会議で、

### 母親研修会

母親委員長 木村 笑美子



九月十一日(土) 中小企業大学旭川校において二百名を超える参加者をおもてなす研修会を開催いたしました。研修会を企画いたしました。あれもこれもと考えているうちに分科会は六つになり、節約術、読み聞かせ、護身術、アロママツサージ、コミュニケーション、ウォーキング。開会式では東五条小学校保護者の皆さんによる読み聞かせ「あらしのよるに」を披露していただきました。子育ての不安感や孤独感はおしやべりするだけでも軽減されることがあり、交流する場を提供できるPTA活動は、大きな役割を持っていると思っております。今後も各学校のPTA活動の活性化や、皆さんの交流に少しでもお役に立てるような研修会を企画していきたいと思っております。参加してくださった皆様の素敵な笑顔や真剣な瞳、私たちの想いを理解し協力くださいました講師の皆様へ、母親委員を代表してあらためて感謝申し上げます。

### ファミリームーブメントについて

事業部担当副会長 小山 英明

今年度のファミリームーブメント事業は秋と冬に二回実施致しました。どちらも多く参加を頂き、無事に終えることができたことは、この事業に関わって頂きました皆様方のおかげと、厚くお礼申し上げます。

秋は、平成二十二年十月十七日(日) 神居古潭「ふじくらますも果樹園」さんで、りんご狩りを行いました。大型バスを二台チャーターし、旭川市内を巡回し、参加者を乗せて現地向かいました。一台は順調に到着しましたが、もう一台は集合時間に参加者が来ていなかったり、集合場所の学校が移動していたことに気がつかなかったりと、大幅に遅れてしまいました。天気もあまり良くなかったため、先のバスで到着した親子からりんご狩りをしてジンギスカンを食べました。後からのバスが到着し、りんご狩りを終えたころには既に食べ終わってしまい...先に帰ることにになりました。当初計画していた通りには行なうことができませんでした。参加した子どもたちからは「楽しかった!」、「来年も参加するよ!」とうれしい言葉を頂きました。

冬は、平成二十三年二月二十日(日) 新富小学校さんのご厚意でグラウンドと体育館をお借りして、ドッチボールやチューブラリーそしてスノーモービル体験を親子で行い、みんなで豚汁を食べました。天候にも恵まれ冬の旭川を十分に満喫できた企画であったと思います。特にスノーモービルはなかなか乗る機会もなく、子どもたちはもとより、保護者のみなさんがたいへん盛り上がり、今年度はスノーモービルを所有していたこともあり、この事業をすることができました。

本年度この事業に参加して頂いた児童生徒並びにそのご家族の皆様方、事業部部長はじめ部員の皆様方、お手伝いを頂きました役員の皆様方、そしてご支援頂きました皆様方に心より感謝申し上げます。

来年度も親子で楽しみながら親子の絆を深め、他の家族との交流することを通して、家庭教育について考えるきっかけとなるような事業を進めていきたいと思っております。



